



「凧合戦」ご存知ですか。

6月の第1土曜日から3日間、
長岡市中之島地区と対岸の見附市今町地区との間で行われる行事で、地域の初夏の風物詩
になっています。

この凧合戦の見どころは巨大な「六角凧」。

武者絵や美人画が描かれ、空と町を彩ります。

凧の大きさは縦4.3メートル、横3.2メートルもあり、太いロープ（凧糸）を軽々と持ち上
げながら浮かぶ様子は爽快の一言です。

ご存知の方も多いかもしれませんが、この祭り、ただ大きな凧を空に浮かべるだけでは終わ
りません。

「合戦」という名前の通り、凧で戦います。

川の両岸から凧を揚げ、糸が空中で絡むと両岸から一気に引き合い、相手の糸を切るまで戦
います。

多いときには20～30枚が同時に揚がり、4～5枚で絡み合い、糸を切り合うことも。

必死で引き合う法被姿の男達の表情（女性も参加できます!）、凧の破れる音と凧糸がちぎ
れる音、

威勢の良い掛け声が土手に響き、迫力満点です。

この行事、起源については諸説ありますが、毎年氾濫・決壊して地域に大きな被害をもたらしていた

刈谷田川の「地固め」のために行われてきたというのが定説になっているようです。

その歴史350年！

土地の人びとに受け継がれ、今年も大凧が空に舞います。

中之島地区と対岸の今町地区では5月の終わりごろから、いたるところに凧が掲げられ国道8号線沿いや商店街など、

道行く人の目を楽しませてくれます。

中之島地域が長岡市に編入してから今年で10年です。

6月6日～8日、凧を見上げながら初夏の風に吹かれてみませんか？

行事詳細はこちら

<https://www.city.nagaoka.niigata.jp/kankou/event/oodakogasen.html>